

新型コロナウィルス感染拡大と 徳島県日中友好協会の活動

徳島県日中友好協会

コロナウィルスの感染拡大をうけ、徳島県日中友好協会も活動を自粛しており、皆様にご迷惑をおかけしております。

こうした状況の中、四国華僑華人連合会より徳島県日中友好協会对中国からの医療用マスク 10 箱が届きました。届けられたマスクは徳島県に依頼し、県内の医療機関に配布、活用して頂くように致しました。

新型コロナウィルスの感染は中国の武漢に始まり、中国全土、韓国、日本、欧米へと広がり全世界で猛威を振るっております。1992 年以来、武漢の大学から留学生、研究者が徳島に訪れ、徳島からも武漢の大学へ留学したり、訪問したりする人たちが出てきました。交流の輪は市民にも広がっています。これを受け、徳島県日中友好協会は武漢で感染が拡大し始めた 1 月に募金を開始し、武漢大学日本同窓会を通じ、武漢の医療機関に送りました。

コロナウィルスの感染拡大には、国を超えて全世界が一体となって対処しなければなりません。徳島県日中友好協会の交流活動がこの深刻な危機克服の一助になればと考えております。今後とも、皆様のご支援をお願い申し上げます。

徳島県　日中友好協会　会長　葭森健介